

## 2022年度 第3四半期 決算

---

- I. 2022年度 第3四半期累計 決算概要
  - II. 2022年度 第3四半期 決算概要
  - III. 2022年度 通期 業績予想
  - IV. 補足資料
- 

シャープ株式会社

2023年2月7日

- ・ 本日はご多忙な中、ご参加頂き ありがとうございます。  
また日頃は、当社の広報・IR活動に ご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、パワーポイント資料に沿って、ご説明いたします。

# 連結業績概要

- ・ 2022年度 第3四半期累計の売上高は、注力分野であるブランド事業でスマートライフや8Kエコシステムが伸長、エレクトロニックデバイスも増収となり、前年同期を上回る。
- ・ 営業利益・経常利益・最終利益は、円安の影響があったこと、ディスプレイ事業の不振が続いたことなどから、大幅な減益となったものの、営業利益・経常利益の黒字は確保。
- ・ 第3四半期までの実績、足元の事業環境を反映し、業績予想を修正。2023年度の黒字化に向けた抜本的な構造改革の最中であるため、現時点で合理的に算出することが可能な営業利益までを開示。

**SHARP**

1

- ・ まず、連結業績の概要です。
- ・ 第3四半期までの累計の売上高は、注力分野であるブランド事業でスマートライフや8Kエコシステムが伸長するとともに前年は新型コロナウイルス拡大により大きな影響を受けたエレクトロニックデバイスの売上も回復し、前年同期を上回りました。
- ・ 営業利益・経常利益・最終利益は、円安の影響があったこと、ディスプレイ事業の不振が続いたことなどから、大幅な減益となりましたが、営業利益・経常利益の黒字は確保できました。
- ・ また、第3四半期までの実績や足元の事業環境を反映し、業績予想を修正しております。2023年度の黒字化に向け、抜本的な構造改革を進めていることから、現時点で合理的に算出することが可能な営業利益までを開示しております。

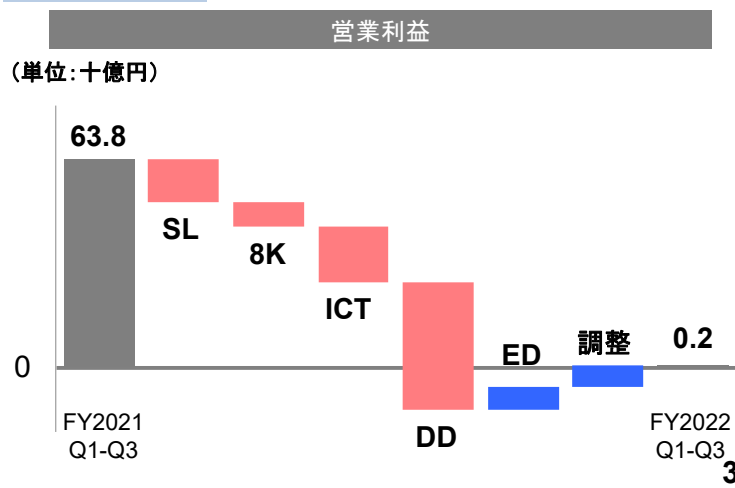
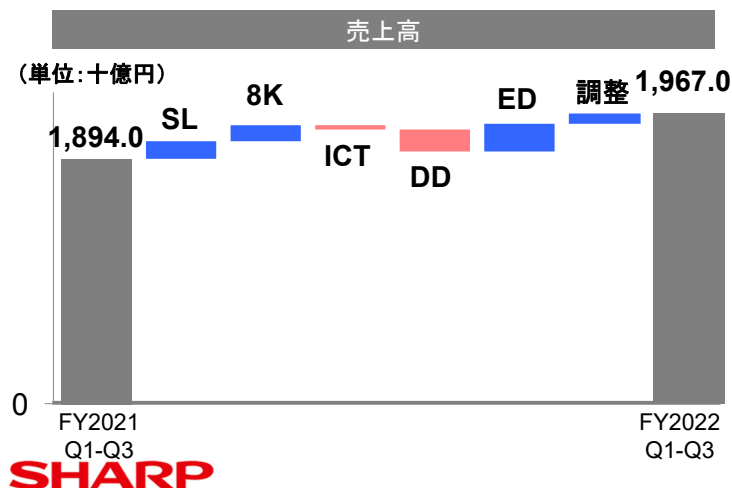
# I . 2022年度 第3四半期累計 決算概要

- ・ 最初に、2022年度 第3四半期までの累計の実績について、ご説明させていただきます。

# 2022年度 第3四半期累計 連結業績概要

(単位:十億円)

	2021年度	2022年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
売上高	1,894.0	1,967.0	+3.9%
営業利益	63.8 (3.4%)	0.2 (0.0%)	-99.6%
経常利益	84.6 (4.5%)	0.1 (0.0%)	-99.8%
最終利益	70.8 (3.7%)	-7.2 (-0.4%)	-
平均為替レート			
ドル円	110.10	135.52	
ユーロ円	129.12	139.08	



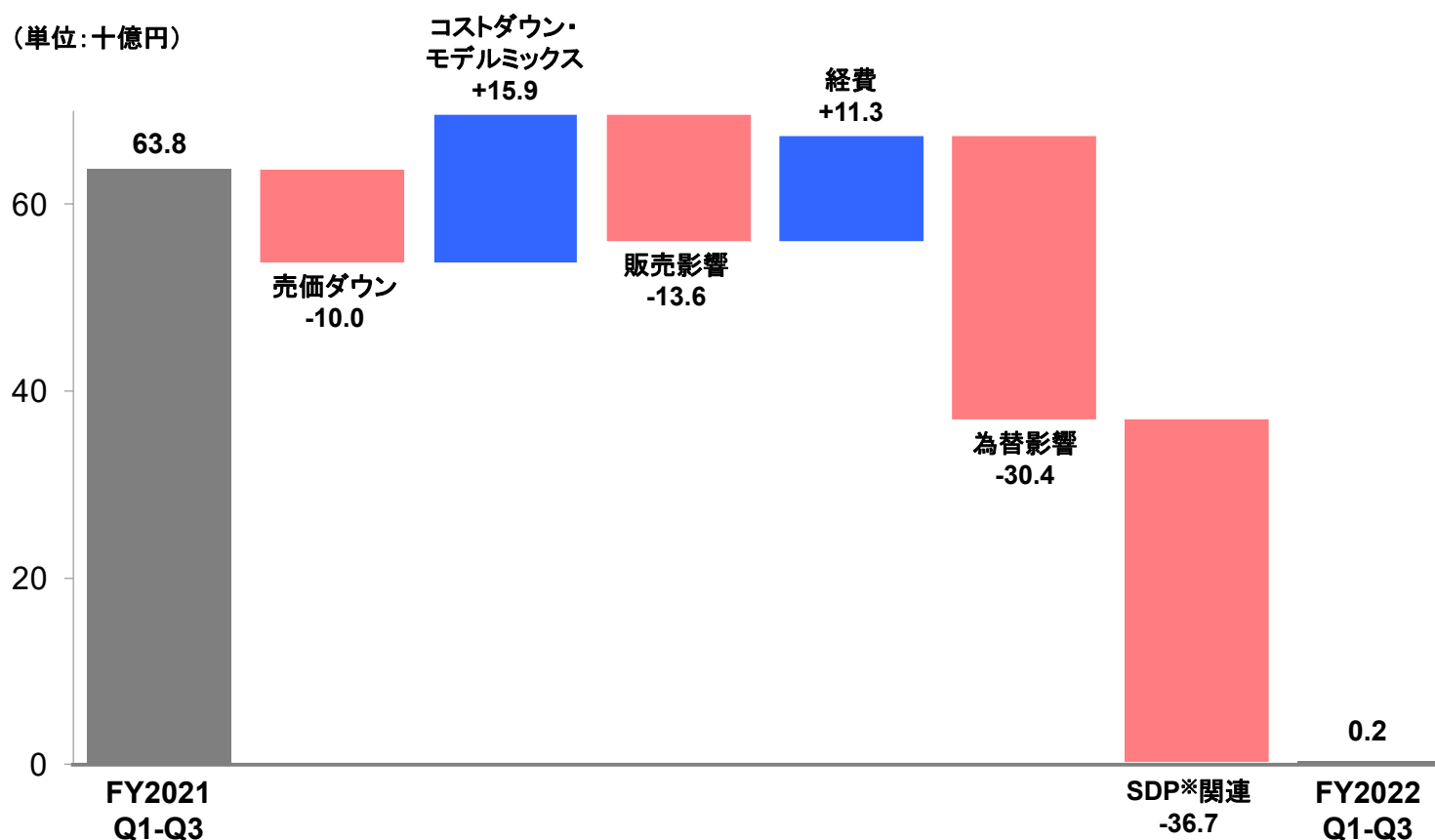
- ・ 次のスライドをご覧ください。第3四半期までの累計の業績です。
- ・ 売上高は、前年同期比3.9%増の1兆9,670億円となりました。
- ・ 利益につきましては、  
営業利益は 2億円の黒字、  
経常利益は 1億円の黒字、  
最終利益は 72億円の赤字となっております。

いずれも大幅な減益となりましたが、営業利益・経常利益の黒字は確保できました。

# (第3四半期累計) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)

(単位:十億円)



**SHARP**

※堺ディスプレイプロダクト株式会社

4

・ 次のグラフは、第3四半期 累計の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。

- ・ 「売価ダウン」による 100億円の利益の減少、
- ・ 「コストダウン・モデルミックス」による 159億円の増加、
- ・ 「販売影響」による 136億円の減少、
- ・ 「経費」の減少による 113億円の増加、
- ・ 「為替影響」による 304億円の減少、
- ・ 「堺ディスプレイプロダクト株式会社」に関連する 367億円の減少がありました。

大幅な円安に伴う為替影響と

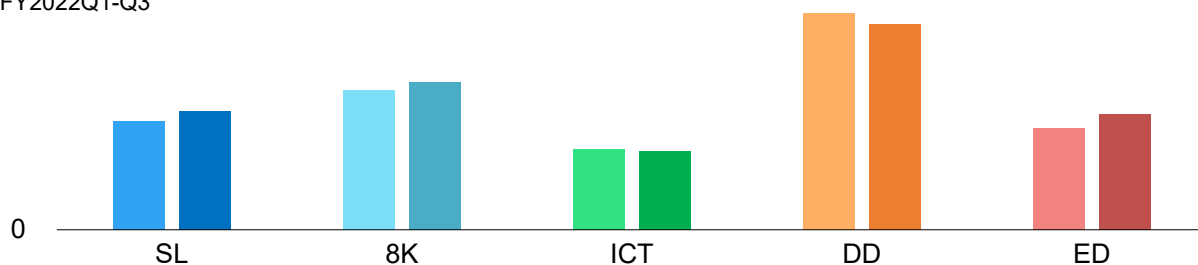
堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結が大きな減益要因となっております。

# (第3四半期累計)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度	2022年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
スマートライフ	331.2	359.9	+8.7%
8Kエコシステム	425.0	449.2	+5.7%
ICT	244.3	238.4	-2.4%
ブランド事業計	1,000.6	1,047.6	+4.7%
ディスプレイデバイス	658.6	624.4	-5.2%
エレクトロニックデバイス	309.6	352.2	+13.8%
デバイス事業計	968.2	976.7	+0.9%
小計	1,968.9	2,024.4	+2.8%
調整額	-74.8	-57.3	-
合計	1,894.0	1,967.0	+3.9%

左棒: FY2021Q1-Q3  
右棒: FY2022Q1-Q3



**SHARP**

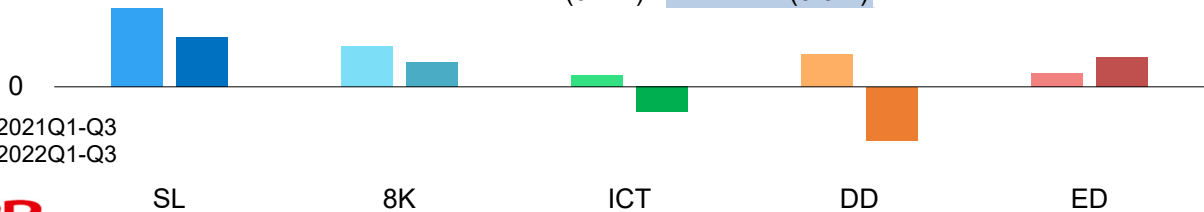
※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

- ・ 次のスライドは、セグメント別 売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は 前年同期比 4.7%増の 1兆476億円、デバイス事業は 前年同期比 0.9%増の 9,767億円となりました。

# (第3四半期累計)セグメント別営業利益

※( )内の数字は営業利益率です。 (単位:十億円)

	2021年度	2022年度	
	Q1-Q3	Q1-Q3	前同比
スマートライフ	36.1 (10.9%)	22.6 (6.3%)	-37.4%
8Kエコシステム	18.3 (4.3%)	11.0 (2.5%)	-39.6%
ICT	5.3 (2.2%)	-11.5 (-4.9%)	-
ブランド事業計	59.8 (6.0%)	22.1 (2.1%)	-63.0%
ディスプレイデバイス	14.9 (2.3%)	-24.5 (-3.9%)	-
エレクトロニックデバイス	6.0 (1.9%)	13.3 (3.8%)	+120.7%
デバイス事業計	20.9 (2.2%)	-11.2 (-1.2%)	-
小計	80.8 (4.1%)	10.8 (0.5%)	-86.5%
調整額	-16.9	-10.6	-
合計	63.8 (3.4%)	0.2 (0.0%)	-99.6%



SHARP

- ・ 続いては、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業は、前年同期比 63.0%減の 221億円の黒字、デバイス事業は、前年同期の 209億円の黒字から、321億円減少し、112億円の赤字となりました。

## Ⅱ. 2022年度 第3四半期 決算概要

- ・ 次に、第3四半期の実績について、ご説明させていただきます。



# 2022年度 第3四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

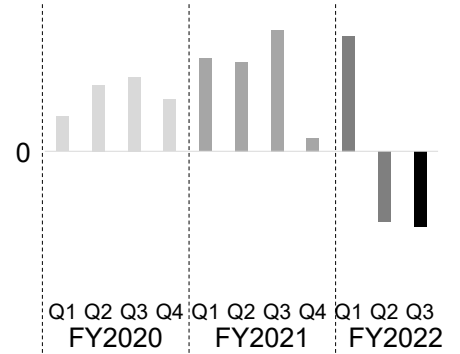
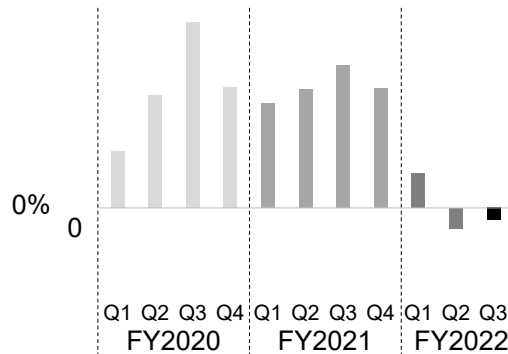
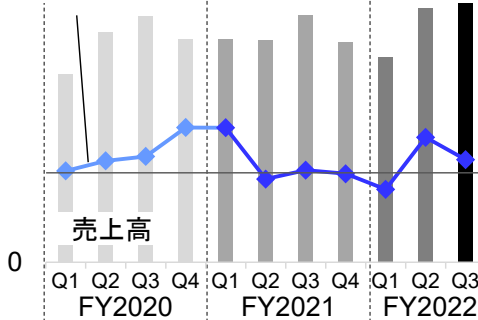
	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	709.0	+4.9%
営業利益	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)	-2.1 (-0.3%)	-
経常利益	25.6 (4.2%)	25.2 (4.2%)	33.7 (5.0%)	30.3 (5.0%)	17.4 (3.1%)	-7.2 (-1.0%)	-10.0 (-1.4%)	-
最終利益	21.6 (3.5%)	20.8 (3.4%)	28.3 (4.2%)	3.1 (0.5%)	26.9 (4.8%)	-16.5 (-2.4%)	-17.5 (-2.5%)	-
平均為替レート								
ドル円	108.49	109.11	112.71	115.21	128.57	137.38	140.60	
ユーロ円	130.45	128.33	128.57	128.90	136.60	137.84	142.81	

売上高

営業利益

最終利益

前年同期比



**SHARP**

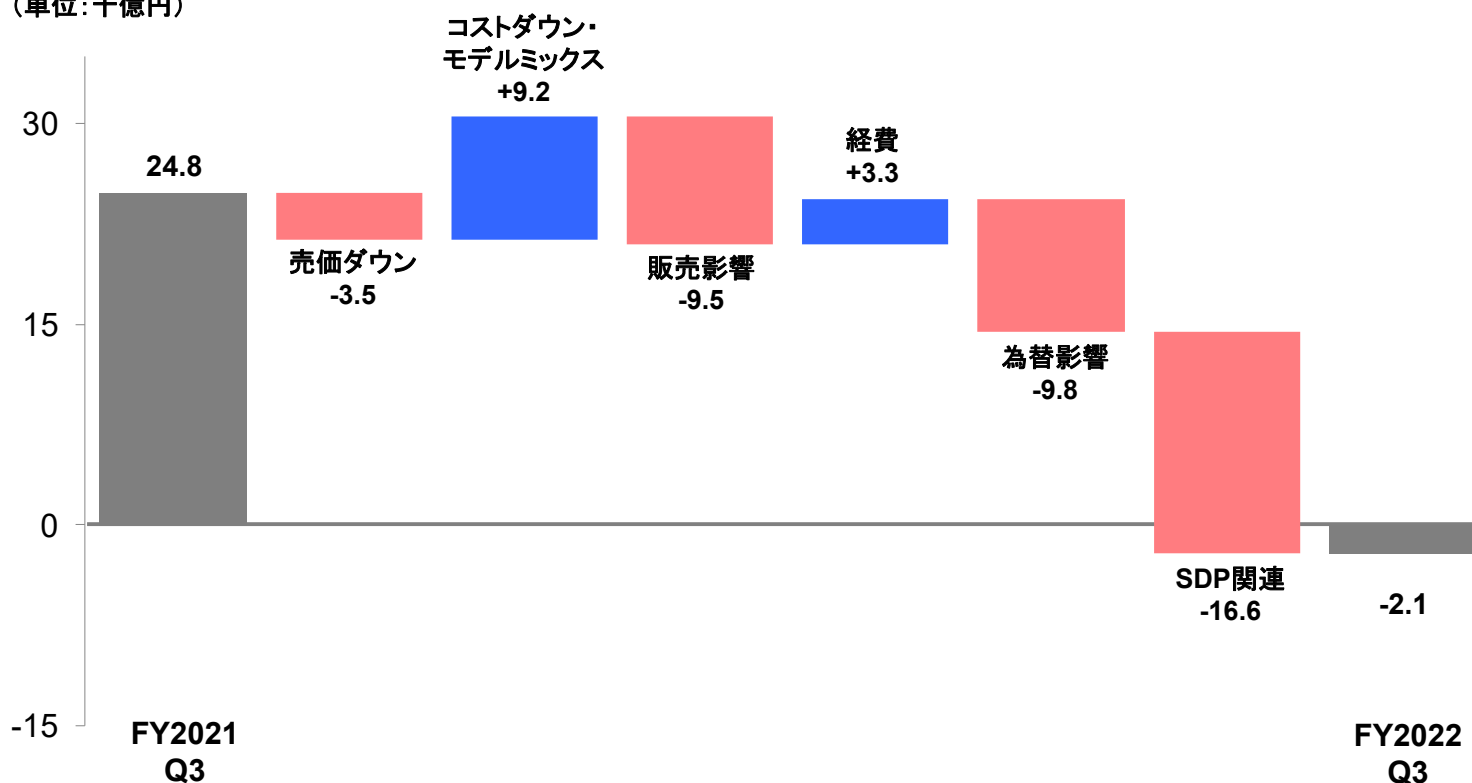
8

- ・ 次のスライドは、第3四半期の業績です。
- ・ 売上高は、前年同期比4.9%増の7,090億円となりました。
- ・ 利益につきましては、  
営業利益が 21億円の赤字、  
経常利益が 100億円の赤字、  
最終利益が 175億円の赤字となりました。

# (第3四半期) 営業利益 要因別増減分析(対前年同期)

(管理会計)

(単位:十億円)



SHARP

9

- ・ 次のグラフは、第3四半期の営業利益の前年同期に対する増減を要因別にまとめたものです。
- ・ 「売価ダウン」による 35億円の利益の減少、  
「コストダウン・モデルミックス」による 92億円の増加、  
「販売影響」による 95億円の減少、  
「経費」の減少による 33億円の増加、  
「為替影響」による 98億円の減少  
「堺ディスプレイプロダクト株式会社」に関連する 166億円の減少がありました。

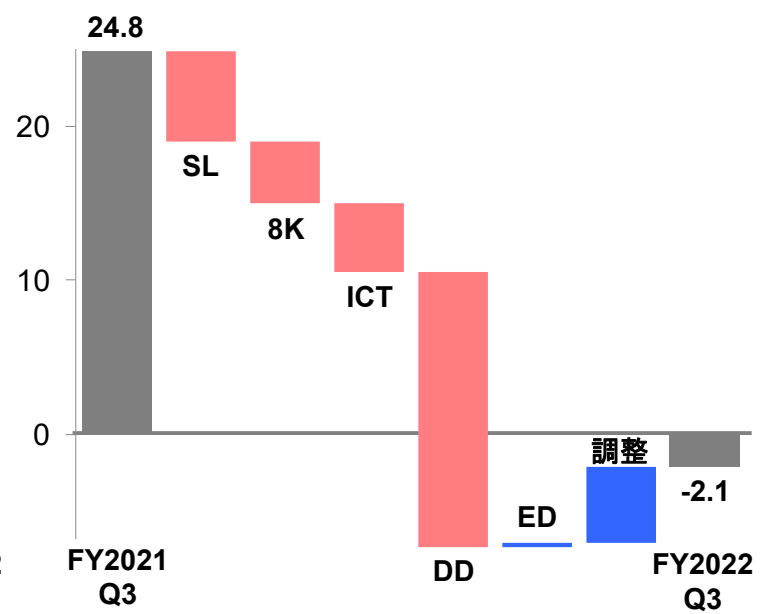
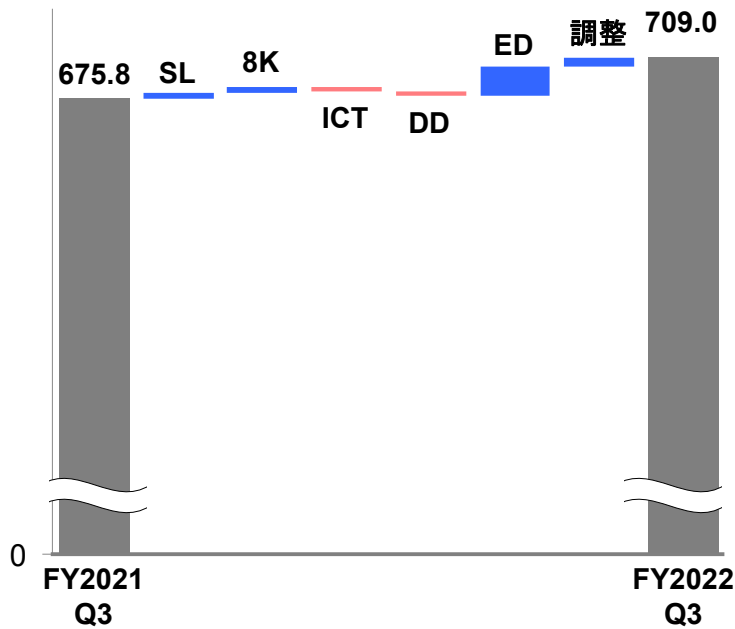
# (第3四半期)セグメント別増減分析(対前年同期)

売上高

営業利益

(単位:十億円)

(単位:十億円)



SHARP

10

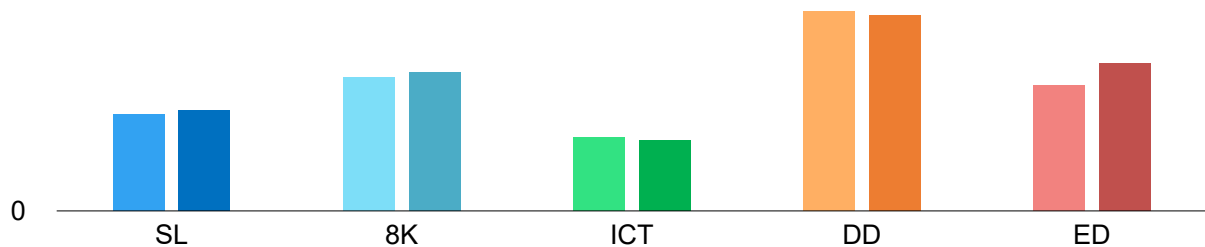
- ・ 次のスライドは、前年同期からの売上高と営業利益の増減をセグメント別にまとめたものです。
- ・ 第3四半期の売上高は、ICT、ディスプレイデバイスが減収となり、スマートライフ、8Kエコシステム、エレクトロニックデバイスが増収となりました。
- ・ 営業利益は、エレクトロニックデバイスが増益となり、その他の4セグメントは円安の影響やディスプレイ市況の悪化により、大幅な減益となっております。

# (第3四半期)セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
スマートライフ	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2	111.8	+4.2%
8Kエコシステム	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6	153.8	+3.3%
ICT	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4	78.9	-4.0%
ブランド事業計	328.7	333.3	338.5	337.2	320.8	382.2	344.6	+1.8%
ディスプレイデバイス	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1	217.8	-1.8%
エレクトロニックデバイス	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8	164.4	+17.8%
デバイス事業計	309.8	297.0	361.3	288.2	258.3	336.0	382.2	+5.8%
小計	638.6	630.3	699.9	625.4	579.2	718.3	726.8	+3.9%
調整額	-27.0	-23.7	-24.0	-23.9	-17.0	-22.4	-17.7	-
合計	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	709.0	+4.9%

左棒: FY2021Q3  
右棒: FY2022Q3



**SHARP**

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

11

- ・ 次のスライドは、第3四半期のセグメント別売上高の一覧です。
- ・ ブランド事業の売上高は前年同期比 1.8%増の 3,446億円、デバイス事業は前年同期比 5.8%増の 3,822億円となっております。

# (第3四半期)セグメント別営業利益

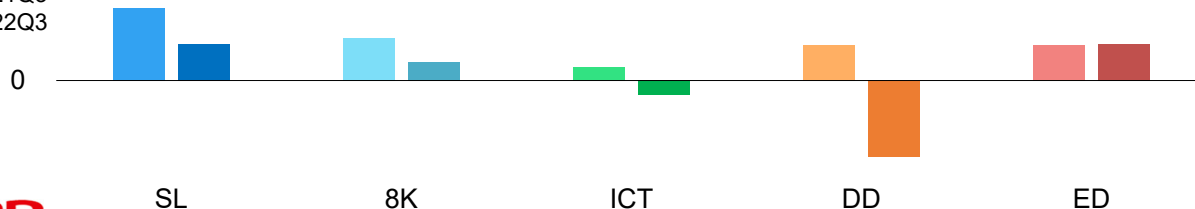
※()内の数字は営業利益率です。

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度				前同比
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3		
スマートライフ	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	12.1 (10.6%)	7.1 (6.4%)	9.7 (7.1%)	5.7 (5.2%)	-50.5%	
8Kエコシステム	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	6.5 (4.6%)	4.3 (3.1%)	3.7 (2.4%)	2.9 (1.9%)	-57.6%	
ICT	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-1.2 (-1.6%)	-2.5 (-3.7%)	-6.7 (-7.6%)	-2.2 (-2.9%)	-	
ブランド事業計	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)	17.4 (5.2%)	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)	-69.0%	
ディスプレイデバイス	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	5.3 (2.7%)	0.6 (0.3%)	-12.9 (-6.0%)	-12.2 (-5.6%)	-	
エレクトロニックデバイス	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	0.9 (1.1%)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	+4.3%	
デバイス事業計	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)	6.3 (2.2%)	0.6 (0.2%)	-5.5 (-1.7%)	-6.3 (-1.6%)	-	
小計	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)	23.7 (3.8%)	9.6 (1.7%)	1.1 (0.2%)	0.1 (0.0%)	-99.7%	
調整額	-4.9	-4.8	-7.1	-2.9	-3.4	-4.8	-2.2	-	
合計	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)	-2.1 (-0.3%)	-	

左棒: FY2021Q3

右棒: FY2022Q3



SHARP

SL

8K

ICT

DD

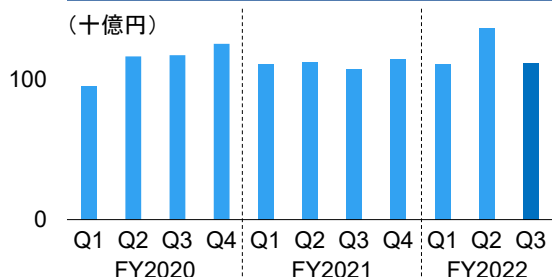
ED

12

- ・ 続いては、セグメント別 営業利益の一覧になります。
- ・ ブランド事業は、前年同期比 69.0%減の 64億円の黒字、デバイス事業は、前年同期の 112億円の黒字に対し、175億円減の 63億円の赤字となりました。

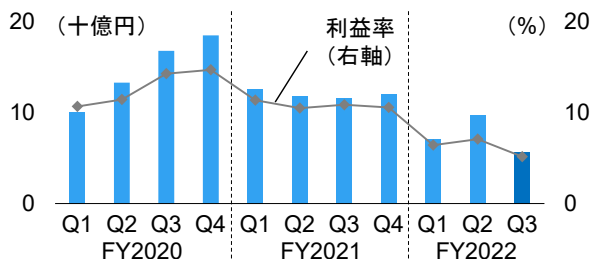
(単位:十億円)	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2	111.8	+4.2%
営業利益	12.6	11.8	11.6	12.1	7.1	9.7	5.7	-50.5%
(利益率)	(11.4%)	(10.5%)	(10.9%)	(10.6%)	(6.4%)	(7.1%)	(5.2%)	

売上高(増収)



- (増) 調理家電が、欧米で引き続き大幅に伸長
- (増) 洗濯機が、新型ドラム洗が好調だった国内で大きく伸長
- (増) エネルギーソリューション事業は、海外EPCと国内家庭向けが大きく伸長
- (減) 空気清浄機は、プラズマクラスターネクストなどが好評で国内で高いシェアを維持したものの、市況低迷の影響で減収
- (減) エネルギーソリューション事業は、国内EPC案件が減少

営業利益(減益)



- (減) 円安の影響
- (増) 高付加価値化の進展



次のスライドをご覧ください。セグメント毎の概況になります。まずは、スマートライフです。

売上高は、前年同期比 4.2%増の 1,118億円となりました。

白物家電事業は、増収となりました。

欧米の調理家電や国内の洗濯機などが大きく売上を伸ばしました。

なお、空気清浄機については、プラズマクラスターネクストなどが好評で高い国内シェアを維持したものの、市況低迷のあおりを受け、前年同期を下回っております。

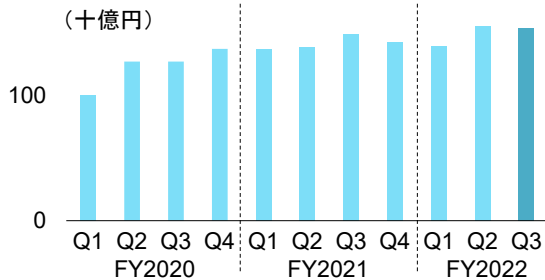
エネルギーソリューション事業は、減収となりました。

海外EPC事業の売上や国内の家庭向けの売上が大きく伸長したものの、国内EPC事業の売上が前年同期を下回りました。

営業利益は、円安による影響があったことなどから、50.5%減の 57億円となりました。

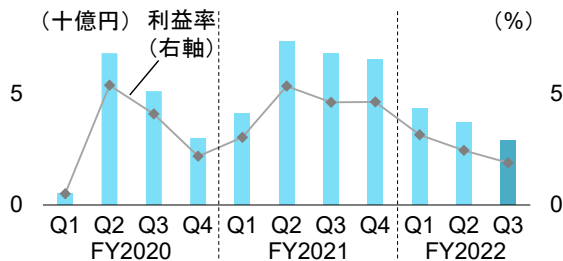
(単位:十億円)	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6	153.8	+3.3%
営業利益	4.1	7.3	6.8	6.5	4.3	3.7	2.9	-57.6%
(利益率)	(3.0%)	(5.3%)	(4.6%)	(4.6%)	(3.1%)	(2.4%)	(1.9%)	

売上高(増収)



- (増) ビジネスソリューション事業は、前年同期比で10%を超える増収
  - ・MFP事業が、各地域で着実に伸長
  - ・スマートオフィス事業やインフォメーションディスプレイは欧米を中心に売上を伸ばす
- (増) アジア・米州のテレビが伸長
- (減) 市況低迷の影響を受け、中国・欧州・日本のテレビは減収

営業利益(減益)



- (減) テレビ事業の販売減、一過性費用の発生
- (増) MFP事業やオフィスソリューション事業などが伸長



・ 次は、8Kエコシステムです。

・ 売上高は、前年同期比 3.3%増の 1,538億円となりました。

ビジネスソリューション事業は、前年同期比で10%を超える増収となりました。MFP事業が、各地域で着実に伸長したほか、スマートオフィス事業やインフォメーションディスプレイが、欧米を中心に売上を伸ばしました。

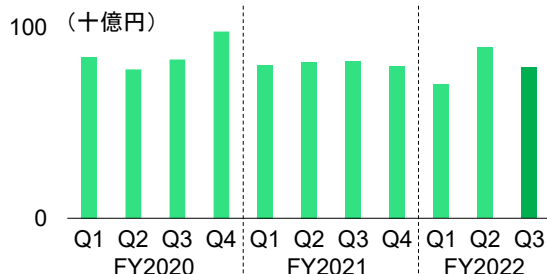
一方、テレビ事業は、減収となりました。アジア・米州で売上を伸ばしたものの、市況低迷の影響を受け、中国・欧州・日本で前年同期を下回りました。

・ 営業利益は、57.6%減の 29億円となりました。

ビジネスソリューション事業は 増収増益となりましたが、テレビ事業は、減収となった影響や、一過性費用の発生により、減益となりました。

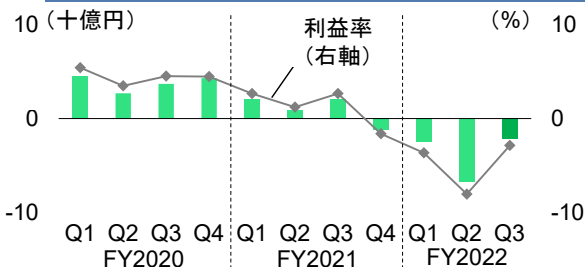
(単位:十億円)	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4	78.9	-4.0%
営業利益	2.1	0.9	2.1	-1.2	-2.5	-6.7	-2.2	-
(利益率)	(2.7%)	(1.2%)	(2.7%)	(-1.6%)	(-3.7%)	(-7.6%)	(-2.9%)	

売上高(減収)



- (減) 世界的な需要低迷の影響から、PC事業の売上が減少
- (増) 国内のB2Gや教育向けPCの売上は伸長
- (増) ソリューション関連の売上も伸長
- (増) 通信事業が、スマートフォンのラインアップ展開や非スマートフォン商材の強化により増収

営業利益(減益)



- (減) 円安の影響
- (減) 販売減

※上期より構造改革に取り組んでおり、収益は改善方向



・ 次のスライドをご覧ください。ICTになります。

・ 売上高は、前年同期比 4.0%減の 789億円となりました。

通信事業は、増収となりました。

スマートフォンのラインアップ展開や非スマートフォン商材を強化したことなどによるものです。

一方、PC事業は、世界的な需要低迷の影響を受けて減収となりました。ただし、こうした厳しい環境下にあっても、国内のB2Gや教育向けPC、ソリューション関連の売上などは伸長いたしました。

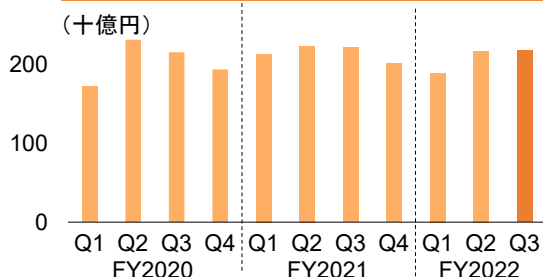
・ 営業利益は、減収となったこと、前年比で大幅な円安となったことなどから、22億円の赤字になりました。

なお、ICTでは、上期より欧州での構造改革などの取り組みを進めており、すでに収益は改善方向に向かっております。



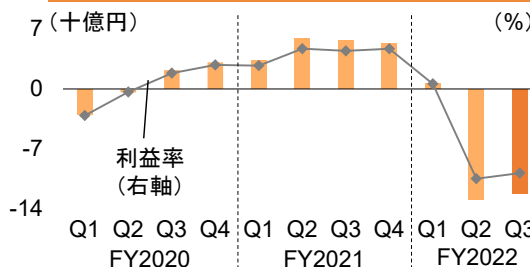
(単位:十億円)	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1	217.8	-1.8%
営業利益	3.3	5.9	5.6	5.3	0.6	-12.9	-12.2	-
(利益率)	(1.6%)	(2.7%)	(2.5%)	(2.7%)	(0.3%)	(-6.0%)	(-5.6%)	

売上高(減収)



(減) 大型液晶やPC・スマホ向けディスプレイの市況低迷  
 (減) スマートフォン向けパネルが減少  
 (増) 車載向けパネル・PC/タブレット向けパネルなどが伸長

営業利益(減益)



(減) 販売減  
 (減) 堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結影響



・ 次は、ディスプレイデバイスです。

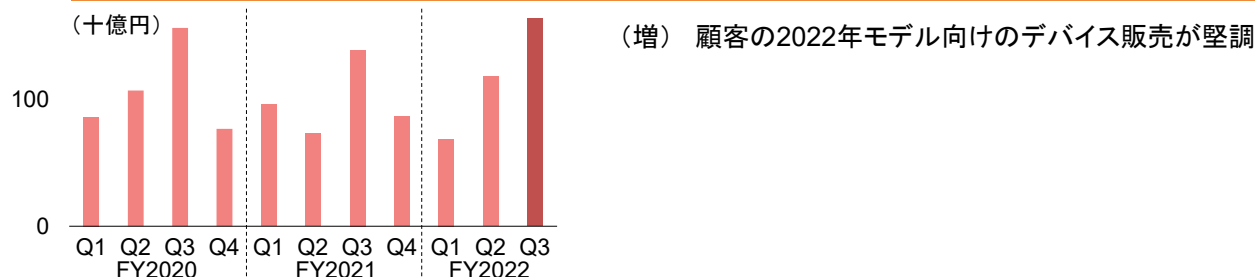
・ 売上高は、前年同期比 1.8%減の 2,178億円となりました。

大型液晶やPC・スマホ向けディスプレイの市況が厳しいなかであって、車載向けパネルやPC/タブレット向けパネルなどは伸長しましたが、アプリケーション別では、スマートフォン向けパネルが減少した。

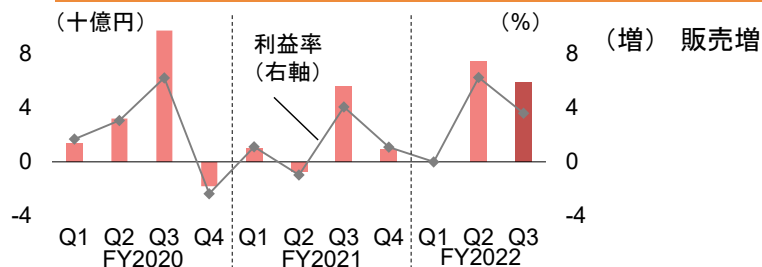
・ 営業利益は、減収となったことに加え、堺ディスプレイプロダクト株式会社を連結した影響などもあり、122億円の赤字となりました。

(単位:十億円)	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同比
売上高	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8	164.4	+17.8%
営業利益 (利益率)	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	0.9 (1.1%)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)	+4.3%

売上高(増収)



営業利益(増益)



- ・ 次のスライドは、エレクトロニックデバイスになります。
- ・ 売上高は、顧客の2022年モデル用デバイスの販売が堅調だったことから、前年同期比 17.8%増の 1,644億円となりました。
- ・ 営業利益は、増収となったことなどから、4.3%増の 59億円となっております。

# 営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	前同 増減額
営業利益	18.3	20.6	24.8	20.8	6.1	-3.6	-2.1	-26.9
営業外損益	+7.2	+4.5	+8.8	+9.5	+11.3	-3.5	-7.9	-16.7
内:支払利息	-1.3	-1.1	-1.1	-0.7	-0.9	-2.6	-2.9	-1.8
為替差損益	+3.2	+3.7	+5.5	+6.4	+13.0	+5.7	-1.1	-6.6
投資関連収益・費用	+0.0	+2.2	+2.0	+4.8	+4.1	+1.5	+0.8	-1.2
持分法による投資損益	+4.3	+2.3	-1.3	-1.7	-5.1	-7.2	-6.1	-4.8
経常利益	25.6	25.2	33.7	30.3	17.4	-7.2	-10.0	-43.7
特別損益	+0.7	+0.8	-1.9	-24.7	+12.2	-1.3	+3.3	+5.2
内:固定資産売却益	+0.1	+0.4	+2.3	+2.2	+0.9	+1.0	+4.7	+2.4
事業譲渡益	-	-	+5.9	-0.2	-	-	-	-5.9
固定資産受贈益	+0.7	+0.5	-	+0.0	-	-	-	-
段階取得に係る差益	-	-	-	-	+12.4	-	-	-
減損損失	-	-	-7.7	-14.9	-	-	-0.5	+7.2
事業構造改革費用	-	-	-	-	-	-1.0	-0.3	-0.3
訴訟損失引当金繰入額	-	-	-	-11.7	-1.4	-0.8	+0.2	+0.2
和解金	-	-	-2.7	-	-	-	-	+2.7
税前利益	26.3	26.0	31.8	5.5	29.6	-8.6	-6.6	-38.4
法人税等 他	-4.6	-5.2	-3.4	-2.4	-2.7	-7.9	-10.8	-7.4
最終利益	21.6	20.8	28.3	3.1	26.9	-16.5	-17.5	-45.8

**SHARP**

18

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 営業外損益として、61億円の「持分法による投資損失」を計上しております。また、特別損益として、47億円の「固定資産売却益」を計上しております。

# 連結貸借対照表推移

・2022年度 第3四半期末の現預金は 2,628億円、純資産は 4,770億円、自己資本比率は 21.6%となる

(単位:十億円)

	2021年度	2022年度			2021年度	2022年度	
	3月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末
現預金	287.3	256.5	262.8	買掛金等	422.3	477.7	457.0
売掛金等	487.1	536.3	506.7	短期借入金	54.3	91.4	133.9
棚卸資産	310.2	380.2	357.8	1年内社債	0.0	0.0	0.0
その他	145.8	96.3	91.3	その他	331.5	382.8	359.7
<b>流動資産 計</b>	<b>1,230.6</b>	<b>1,269.5</b>	<b>1,218.9</b>	<b>流動負債 計</b>	<b>808.1</b>	<b>952.1</b>	<b>950.7</b>
有形固定資産	418.2	561.7	547.9	社債	0.0	0.0	0.0
無形固定資産	42.2	85.9	82.2	長期借入金	572.2	620.9	585.4
投資その他資産	265.1	309.6	283.5	その他	106.5	119.7	119.4
<b>固定資産 計</b>	<b>725.6</b>	<b>957.4</b>	<b>913.7</b>	<b>固定負債 計</b>	<b>678.8</b>	<b>740.7</b>	<b>704.9</b>
<b>資産合計</b>	<b>1,956.2</b>	<b>2,226.9</b>	<b>2,132.6</b>	<b>純資産</b>	<b>469.2</b>	<b>534.0</b>	<b>477.0</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>1,956.2</b>	<b>2,226.9</b>	<b>2,132.6</b>
期末日レート							
ドル円	121.41	143.81	131.70	自己資本比率	23.2%	23.2%	21.6%
ユーロ円	135.27	140.82	139.94	自己資本	454.2	517.2	461.6

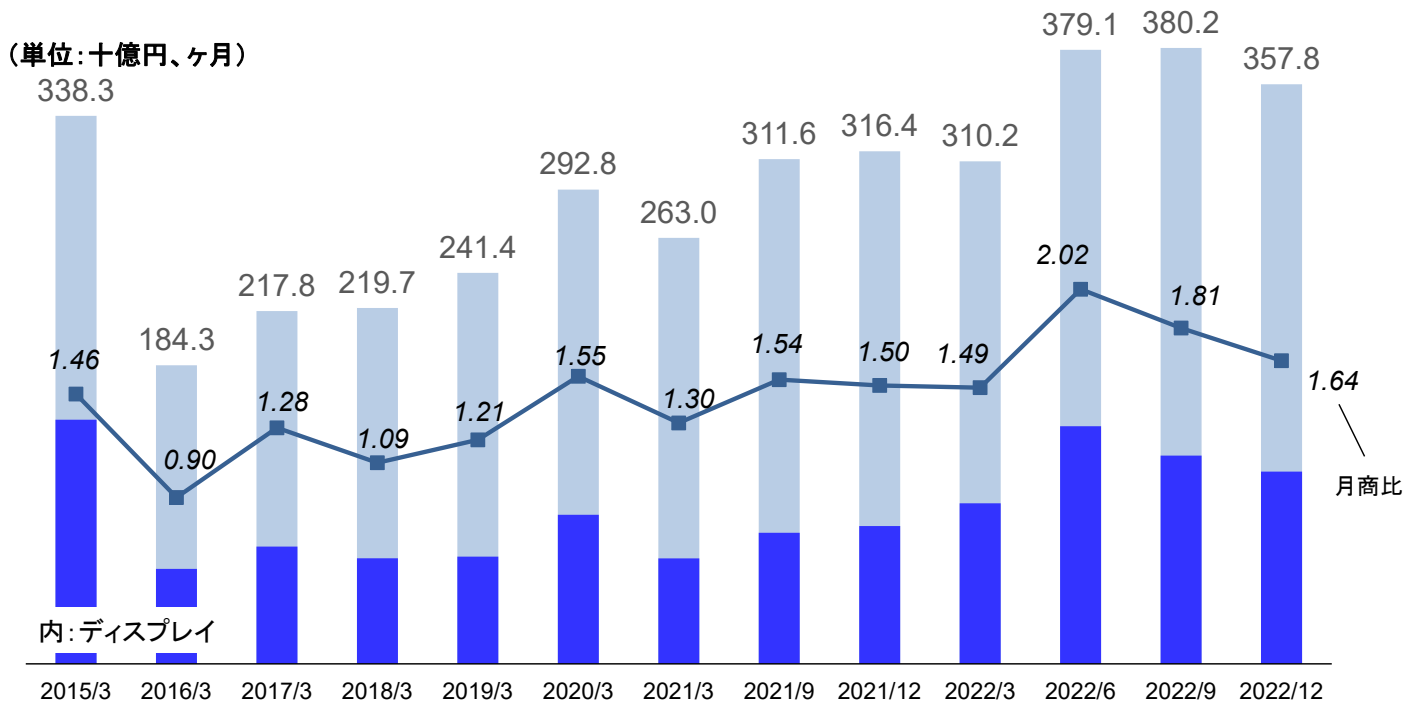
**SHARP**

19

- ・ 続いては、貸借対照表の推移です。
- ・ 2022年12月末の「現預金」は、9月末の 2,565億円に対し、2,628億円に、「純資産」は 5,340億円に対し、4,770億円に、「自己資本比率」は 23.2%に対し、21.6%になっております。

# 棚卸資産の推移

- ・棚卸資産は、堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結やサプライチェーンの混乱などから6月以降 上昇したものの、12月末は9月末から 224億円削減しており、3月末には正常化できる見通し



SHARP

20

- ・ 次のスライドをご覧ください。棚卸資産の推移になります。

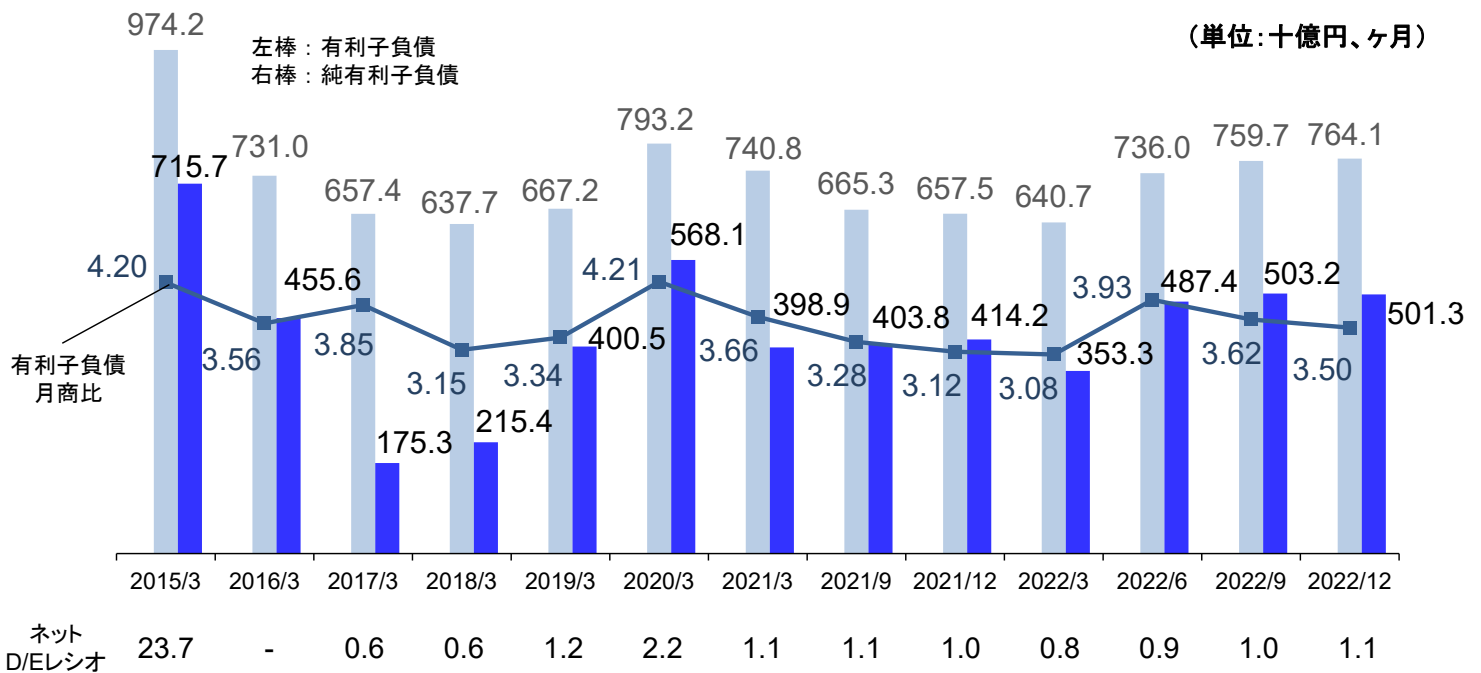
- ・ 棚卸資産は、9月末の 3,802億円に対し 3,578億円、月商比は 1.81ヶ月に対し 1.64ヶ月となっております。

棚卸資産は、堺ディスプレイプロダクト株式会社の連結やサプライチェーンの混乱などから、6月以降 上昇基調にあったものの、12月末は9月末から224億円削減しており、3月末には正常化できる見通しです。

- ・ 今後とも状況の変化を注視し、適正な在庫の管理に努めてまいります。

# 有利子負債の推移

- ・有利子負債は、2022年9月末比 44億円増の 7,641億円、月商比は、0.12ヶ月減の 3.50ヶ月
- ・純有利子負債※は、19億円減の 5,013億円
- ・ネットD/Eレシオは、1.1倍



SHARP

※純有利子負債: 有利子負債 - 現預金

21

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 2022年12月末の有利子負債は、9月末の 7,597億円に対し、7,641億円に増加しておりますが、月商比では、3.62ヶ月から、3.50ヶ月に減少しています。純有利子負債については、金額ベースで減少しており、9月末の5,032億円に対し、12月末は5,013億円となっております。なお、ネットD/Eレシオは、1.1倍となっております。

### Ⅲ. 2022年度 通期 業績予想

- ・ 次は、2022年度 通期の業績予想です。

# 2022年度 連結業績予想

- ・前回予想公表時の想定を上回るディスプレイ需要の低迷や商品市況の悪化などを勘案し、業績予想を修正
- ・黒字化に向けた抜本的な構造改革の最中であるため、現時点で合理的に算出可能な営業利益までを開示

(単位:十億円)

	2021年度	2022年度			
	通期	通期 前回予想	通期 今回予想	前年比	修正額
売上高	2,495.5	2,700.0	2,550.0	+2.2%	-150.0
営業利益 (利益率)	84.7 (3.4%)	25.0 (0.9%)	-20.0 (-0.8%)	-	-45.0
経常利益 (利益率)	114.9 (4.6%)	12.0 (0.4%)	-	-	-
最終利益 (利益率)	73.9 (3.0%)	5.0 (0.2%)	-	-	-
平均為替レート		(下期想定)	(4Q想定)		
ドル円	111.38	145.00	135.00		
ユーロ円	129.06	140.00	140.00		

**SHARP**

23

- ・ 前回の業績予想公表以降、想定以上にディスプレイの需要が低迷し、白物家電やテレビなどの商品市況も、国内やASEANといった当社が主力としている地域で悪化しました。  
こうした状況を勘案し、今回、業績予想を修正しております。
- ・ 売上高は、従来予想の2兆7,000億円を、2兆5,500億円に、営業利益は、250億円の黒字から、200億円の赤字に、それぞれ変更しております。
- ・ 現在、2023年度の黒字化に向け、ディスプレイデバイスをはじめ、PC、通信、テレビなど各事業で抜本的な構造改革に取り組んでいることから、現時点で合理的に算出することが可能な営業利益までを開示させていただきます。



## IV. 補足資料

- ・ 補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」等の実績をまとめております。
- ・ 当社を取り巻く事業環境が急激な変化を続ける中で、2022年度の業績は、大変厳しいものとなる見通しにあります。こうしたなか、危機的状況にいち早く対処し、2023年度に確実に黒字転換を図るべく、すべての不振事業において、2022年度中に抜本的な構造改革をやり遂げる覚悟です。また、こうした厳しい状況にあるからこそ、構造改革と並行して、持続的な成長基盤の構築に向けた事業構造の転換を加速していく考えです。
- ・ ご清聴ありがとうございました。

# 連結業績概要

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
売上高	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9	1,292.1	2,550.0
営業利益	39.0	45.6	84.7	2.4	-22.4	-20.0
(利益率)	(3.2%)	(3.6%)	(3.4%)	(0.2%)	(-1.7%)	(-0.8%)
経常利益	50.8	64.0	114.9	10.2	-	-
(利益率)	(4.2%)	(5.0%)	(4.6%)	(0.8%)		
最終利益	42.5	31.4	73.9	10.3	-	-
(利益率)	(3.5%)	(2.5%)	(3.0%)	(0.8%)		

SHARP

補足-2

# 四半期 連結業績概要

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	709.0
営業利益	18.3	20.6	24.8	20.8	6.1	-3.6	-2.1
(利益率)	(3.0%)	(3.4%)	(3.7%)	(3.5%)	(1.1%)	(-0.5%)	(-0.3%)
経常利益	25.6	25.2	33.7	30.3	17.4	-7.2	-10.0
(利益率)	(4.2%)	(4.2%)	(5.0%)	(5.0%)	(3.1%)	(-1.0%)	(-1.4%)
最終利益	21.6	20.8	28.3	3.1	26.9	-16.5	-17.5
(利益率)	(3.5%)	(3.4%)	(4.2%)	(0.5%)	(4.8%)	(-2.4%)	(-2.5%)

SHARP

補足-3

# セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	223.9	222.2	446.1	248.1
8Kエコシステム	276.0	291.5	567.6	295.4
ICT	162.1	161.9	324.0	159.4
ブランド事業 計	662.1	675.7	1,337.8	703.0
ディスプレイデバイス	436.7	422.8	859.6	406.6
エレクトロニックデバイス	170.0	226.7	396.8	187.8
デバイス事業 計	606.8	649.6	1,256.5	594.4
小計	1,269.0	1,325.3	2,594.4	1,297.5
調整額	-50.8	-47.9	-98.8	-39.5
合計	1,218.2	1,277.3	2,495.5	1,257.9

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-4

# セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度
	上期	下期	通期	上期
スマートライフ	24.4 (10.9%)	23.8 (10.7%)	48.2 (10.8%)	16.8 (6.8%)
8Kエコシステム	11.5 (4.2%)	13.4 (4.6%)	24.9 (4.4%)	8.1 (2.8%)
ICT	3.1 (1.9%)	0.9 (0.6%)	4.0 (1.2%)	-9.3 (-5.9%)
ブランド事業 計	39.1 (5.9%)	38.1 (5.6%)	77.2 (5.8%)	15.7 (2.2%)
ディスプレイデバイス	9.3 (2.1%)	11.0 (2.6%)	20.3 (2.4%)	-12.3 (-3.0%)
エレクトロニックデバイス	0.3 (0.2%)	6.6 (2.9%)	6.9 (1.8%)	7.4 (3.9%)
デバイス事業 計	9.6 (1.6%)	17.6 (2.7%)	27.3 (2.2%)	-4.9 (-0.8%)
小計	48.8 (3.8%)	55.7 (4.2%)	104.6 (4.0%)	10.7 (0.8%)
調整額	-9.8	-10.0	-19.8	-8.3
合計	39.0 (3.2%)	45.6 (3.6%)	84.7 (3.4%)	2.4 (0.2%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-5

# 四半期 セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	111.0	112.9	107.3	114.9	110.9	137.2	111.8
8Kエコシステム	137.5	138.5	148.9	142.6	139.8	155.6	153.8
ICT	80.2	81.8	82.2	79.6	70.0	89.4	78.9
ブランド事業 計	328.7	333.3	338.5	337.2	320.8	382.2	344.6
ディスプレイデバイス	213.3	223.4	221.8	201.0	189.4	217.1	217.8
エレクトロニックデバイス	96.5	73.5	139.5	87.1	68.9	118.8	164.4
デバイス事業 計	309.8	297.0	361.3	288.2	258.3	336.0	382.2
小計	638.6	630.3	699.9	625.4	579.2	718.3	726.8
調整額	-27.0	-23.7	-24.0	-23.9	-17.0	-22.4	-17.7
合計	611.5	606.6	675.8	601.5	562.1	695.8	709.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

SHARP

補足-6

# 四半期 セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
スマートライフ	12.6 (11.4%)	11.8 (10.5%)	11.6 (10.9%)	12.1 (10.6%)	7.1 (6.4%)	9.7 (7.1%)	5.7 (5.2%)
8Kエコシステム	4.1 (3.0%)	7.3 (5.3%)	6.8 (4.6%)	6.5 (4.6%)	4.3 (3.1%)	3.7 (2.4%)	2.9 (1.9%)
ICT	2.1 (2.7%)	0.9 (1.2%)	2.1 (2.7%)	-1.2 (-1.6%)	-2.5 (-3.7%)	-6.7 (-7.6%)	-2.2 (-2.9%)
ブランド事業 計	18.9 (5.8%)	20.2 (6.1%)	20.7 (6.1%)	17.4 (5.2%)	8.9 (2.8%)	6.7 (1.8%)	6.4 (1.9%)
ディスプレイデバイス	3.3 (1.6%)	5.9 (2.7%)	5.6 (2.5%)	5.3 (2.7%)	0.6 (0.3%)	-12.9 (-6.0%)	-12.2 (-5.6%)
エレクトロニックデバイス	1.0 (1.1%)	-0.7 (-1.0%)	5.6 (4.1%)	0.9 (1.1%)	0.0 (0.0%)	7.4 (6.2%)	5.9 (3.6%)
デバイス事業 計	4.3 (1.4%)	5.2 (1.8%)	11.2 (3.1%)	6.3 (2.2%)	0.6 (0.2%)	-5.5 (-1.7%)	-6.3 (-1.6%)
小計	23.3 (3.7%)	25.5 (4.0%)	31.9 (4.6%)	23.7 (3.8%)	9.6 (1.7%)	1.1 (0.2%)	0.1 (0.0%)
調整額	-4.9	-4.8	-7.1	-2.9	-3.4	-4.8	-2.2
合計	18.3 (3.0%)	20.6 (3.4%)	24.8 (3.7%)	20.8 (3.5%)	6.1 (1.1%)	-3.6 (-0.5%)	-2.1 (-0.3%)

※()内の数字は営業利益率です。

SHARP

補足-7

# 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2021年度			2022年度		
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想
設備投資	30.4	21.2	51.7	20.5	44.5	65.0
内:ディスプレイ	10.4	6.1	16.5	4.2	21.8	26.0
減価償却費	31.2	34.7	65.9	36.6	43.4	80.0
研究開発費	39.9	46.3	86.2	39.9	55.1	95.0

(単位:円)

平均為替レート	2021年度			2022年度	
	上期	下期	通期	上期	4Q予想
米ドル	108.80	113.96	111.38	132.98	135.00
ユーロ	129.39	128.73	129.06	137.22	140.00

SHARP

補足-8

# 四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
設備投資	13.4	17.0	11.0	10.2	5.0	15.5	12.3
内:ディスプレイ	7.4	3.0	2.4	3.6	0.9	3.3	4.7
減価償却費	15.3	15.9	16.8	17.9	15.6	21.0	21.6
研究開発費	19.6	20.3	19.2	27.0	18.7	21.1	20.4

(単位:円)

平均為替レート	2021年度				2022年度		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
米ドル	108.49	109.11	112.71	115.21	128.57	137.38	140.60
ユーロ	130.45	128.33	128.57	128.90	136.60	137.84	142.81

SHARP

補足-9

### 【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動(特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場)
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

※前年増減額等は、表示された億円単位の金額を元に算出しております。

※最終利益(損失)・・・

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)または、親会社株主に帰属する四半期純利益(損失)

※開示セグメント及び略号

スマートライフ(SL)、8Kエコシステム(8K)、ICT(ICT)、ディスプレイデバイス(DD)、エレクトロニックデバイス(ED)

**SHARP**

# SHARP

Be Original.

